

事業報告書	法 人 本 部
-------	---------

令和元年度事業報告

1. 運営方針

社会福祉法人白梅学園は、天理教初代真柱様がお詠み下さった「人の子も我子もおなじこゝろもて おふしたてゝよ この道の人」を運営の基本理念としている。

昭和27年7月に乳児院の事業を開始し、昭和36年7月には養護施設を併設した。その後養護施設の増設に伴い、平成10年に子育て短期支援事業を開始する。また、嶺南西部における児童相談所の補完的役割として平成17年4月に児童家庭支援センター白梅を小浜市に開設した。さらに平成23年度の「社会的養護の課題と将来像」に基づく福井県家庭的養護推進計画に沿って、平成29年12月に児童養護施設晴喜館を新築、平成30年7月に乳児院舊舎および管理棟あらきを新築した。そして、平成28年4月に地域小規模児童養護施設「たんぽぽ」、翌年4月に2箇所目の地域小規模児童養護施設「日向」を開設した。これらの関連事業の特性を活かしつつ施設間の連携を行い、さらには職員の専門知識技術の習得や信条教育を深めることにより、基本理念の実践を目指している。

2. 事業内容【定款より】

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第1種社会福祉事業

- イ. 乳児院白梅学園の設置経営
- ロ. 児童養護施設白梅学園の設置経営

(2) 第2種社会福祉事業

- イ. 子育て短期支援事業の経営
- ロ. 児童家庭支援センターの経営

3. 理事会・評議員会開催

日 時	会 議	内 容
4 / 2 0	理事会	定款変更（案）【承認】 給与・退職金規則変更（案）【承認】
4 / 2 0	評議員会	定款変更（案）【承認】 給与・退職金規則変更（案）【承認】
6 / 1 0	理事会	平成30年度各事業報告（案）【承認】 平成30年度各収支決算報告（案）【承認】 理事及び監事の改選（案）【承認】

6 / 2 8	評議員会	平成30年度各事業報告（案） 平成30年度各収支決算報告（案） 理事及び監事の選任（案）	【承認】 【承認】 【承認】
6 / 2 8	理事会	理事長等の選定について	【承認】
3 / 1 6	理事会	令和元年度各収支補正予算（案） 令和2年度各事業計画（案） 令和2年度各収支予算（案） 給与・退職金規則変更（案）	【承認】 【承認】 【承認】 【承認】
3 / 1 6	評議員会	令和元年度各収支補正予算（案） 令和2年度各事業計画（案） 令和2年度各収支予算（案） 給与・退職金規則変更（案）	【承認】 【承認】 【承認】 【承認】

4. 役員・評議員名簿

役 名	氏 名		
理事長	宇 野 美 和	理 事	刀 根 莊兵衛
理 事	堤 利 市	理 事	塚 本 勝 典
理 事	中 村 秀 一	理 事	山 本 元 治
理 事	塩 野 宏	理事（7）	

（任期 令和元年6月28日～令和3年定時評議員会終結の時まで）

役 名	氏 名	
監 事	中 村 紀 明	
監 事	山 本 等	監事（2）

（任期 令和元年6月28日～令和3年定時評議員会終結の時まで）

役 名	氏 名		
評議員	上 田 継 仁	評議員	榎 本 康 博
評議員	神 谷 久 幸	評議員	山 本 恒 司
評議員	肥 田 善 雄	評議員	赤 坂 修 代
評議員	山 口 和 治	評議員	橘 慎 一
評議員（8）			

（任期 令和元年6月28日～令和5年定時評議員会終結の時まで）

令和元年度 社会福祉法人白梅学園 事業報告 【全般】

1. 入退所児童の状況（年間）

施設名	年度初	入所数	退所数	年度末	一時保護	ショートステイ
舊 舎 乳 児 院	7	7	5	9	7	1
晴喜館児童養護施設	3 3	1 2	2	4 3	7	9

2. 令和元年度の出来事

- 4月 1日 職員会議 新任研修①
2日 新任研修② 福養協監事監査（偕生慈童苑）園長同席
3日 福養協職員研修（後：一陽）4名参加
4日 福養協拡大施設長会議①（後：県社協）4名出席
C S PのS V研修（大阪泉佐野市）4名参加
6日 気比高校入学式（1名）
8日 敦賀高校入学式（1名）
9日 西小学校〈5名〉松陵中学校〈4名〉入学式
10日 北幼稚園入園式（2名）
11日 児童健康診断（夕） C S P検定等講座（白梅管理棟～12日）
15日 ブロック乳児院施設長会議（白梅研修棟）園長
16日 中部地区児童家庭支援センター協議会総会（岐阜市～17日）園長他1名出席
17日 養護全体会議および消火避難訓練（前）
18日 天理教祖（おやさま）誕生日
23日 乳児カンファレンス（前）
24日 中養協議員会（名古屋市）園長出席
25日 天理教社会福祉施設連盟総会（天理市）副園長出席
県社協法人連携協議会理事会（県社協）園長出席 *4月分給料支給
29日 【昭和の日】 *天理教ひのきしんデー参加（美浜町海岸清掃）
30日 【退位の日】
- 5月 1日 【即位の日】
2日 【国民の休日】
3日 【憲法記念日】
4日 【みどりの日】 ◎養護行事：野坂山広場でB B Q
5日 【こどもの日】
6日 【振替休日】
8日 里親サロン（総福児相）2名参加
10日 S B I職員研修（大阪市）1名参加
13日 福養協拡大施設長会議②（後：白梅研修棟）4名出席
14日 三島八幡神社祭礼（～15日）
16日 全国乳児福祉協議会総会（東京全社協）園長出席 児童健康診断（夕）
17日 若狭町保護司会講演（後：上中庁舎）園長招聘
19日 中養協「子どものお仕事説明会」（名古屋市）2名派遣
20日 乳児カンファレンス（前）
21日 養護全体会議（前）
23日 中養協総会および学習会（名古屋市～24日）園長出席
24日 新入職員歓迎会 *5月分給料支給
25日 西小学校体育大会
27日 【西小振替休日】
全国児童家庭支援センター協議会総会（東京全社協）園長出席
28日 救急蘇生法講習会（後）
29日 ブロック乳児院養育主任者会（小牧市～30日）2名参加
- 6月 3日 学園監事監査（前）
4日 評議員選任・解任委員会（前）
5日 中部ブロック児童養護施設・乳児院研究協議会富山大会（～7日）6名参加
6日 児童健康診断（夕）
8日 松陵中・角鹿中体育大会

- 9日 評議員選任・解任委員会（後）
- 10日 【両中学校振替休日】
理事役員会（前：白梅研修室）
福養協拡大施設長会議③（後：ほほ咲みの郷）3名出席
- 12日 里親サロン（総福児相）2名参加
- 14日 夏季賞与支給
- 15日 三重県桑名市民児協施設見学（23名：前） ○乳児退職職員送別会
- 17日 坂井市民児協施設見学（14名：前）
- 18日 養護全体会議
- 20日 市社協評議員会（前）園長出席
- 23日 嶺南里親サロン（白梅研修室）
- 25日 県社協評議員会（前：県社協）園長出席 *6月分給料支給
- 26日 乳児カンファレンス（前）
- 27日 里親研修（乳児院実習） ・CPS学齢期版初級指導者養成講座（～28日）
- 28日 定時評議員会（前：白梅研修室） 理事役員会（後：白梅研修室）
- 29日 福井県里親会主催「ミニ星の子のつどい」（エンゼルランド）子ども3名参加
岐阜県美濃加茂市民児協施設見学（9名：後）
- 7月 1日 職員会議および防犯訓練（前）
- 4日 家族療法招聘研修会（敦賀児相）3名参加 児童健康診断（夕）
- 5日 県社協法人連携協議会総会および学習会（後：県社協）園長他2名出席
若狭町要保護児童対策地域協議会代表者会議（後：上中庁舎）副園長出席
- 7日 <七夕>
- 9日 福井県社会福祉審議会児童福祉部会（後：県社協）園長出席
- 10日 全国児童家庭支援センター協議会実務者会（東京品川）2名参加
里親サロン（総福児相）1名参加
- 12日 里親研修（乳児院実習）
- 14日 赤面ライダーショー慰問（後）
- 15日 【海の日】
- 17日 福養協拡大施設長会議④（後：吉江学園）4名出席
- 18日 里親登録前研修①（終日白梅）
- 19日 養護全体会議（前）
- 20日 学童夏休み（～8/25）
- 21日 性教育学習会（講師：上田紀子敦賀市立病院看護師）
- 22日 里親登録前研修②（終日白梅）
- 25日 家族療法招聘研修会（敦賀児相） *7月分給料支給
- 26日 天理教こどもおちばがえり（～8/4）
- 29日 乳児カンファレンス（前）
- 8月 5日 福井県人権擁護審議会（後：福井市）園長出席
- 7日 里親研修（児童養護施設実習）
- 9日 乳養合同海水浴（菅浜海岸）
- 10日 お盆里帰り帰省開始（～18日）
- 11日 【山の日】
- 12日 【振替休日】
- 14日 里親サロン（福井市）2名参加
- 17日 嶺南里親サロン
- 19日 小中学校全校登校日
- 22日 里親登録前研修②（終日白梅） 児童健康診断（夕）
- 23日 8月分給料支給
- 26日 県社協評議員会（後：県社協）園長出席
- 27日 学校再開 *ふく福サポート説明会（後：市社協）園長出席
- 28日 福井県総合レクレーション打合せ（福井市ほほ咲みの郷）1名参加
- 29日 厚生労働省ヒアリング（後：県庁）園長出席
里親制度説明会（夜：小浜市）2名参加
- 31日 虐待防止研修会（後：きらめきみなと館）6名参加
- 9月 2日 敦賀まつり（～4日）
- 5日 児童健診（夕）
- 10日 福井県事務指導監査（施設部門）
- 13日 里親制度説明会（夜：敦賀）2名参加
- 16日 【敬老の日】

- 17日 福養協拡大施設長会議⑤（後：偕生慈童苑）3名出席
- 19日 養護全体会議（前）
- 20日 乳児カンファレンス（前）
- 23日 【秋分の日】
- 25日 9月分給料支給
- 26日 全国乳児院協議会（京都～27日）2名参加
- 28日 福井県総合レクレーション（三国芝政ワールド）
- 30日 里親登録更新研修②（白梅会場）
- 10月 1日 職員会議（前）
- 2日 中養協役職員事務員学習会（～3日：プラザ萬象）5名参加
- 3日 児童健診（夕）
- 4日 丸岡町民児協施設見学（39名：前）
- 5日 嶺南里親サロン
- 10日 福井県ヒアリング（前）
- 11日 小中第1学期終業式
- 14日 【体育の日】
- 13日 小中学校第2学期始業式
- 16日 職員旅行①（～17日）
- 17日 里親等研修会（総福児相）3名参加
- 19日 乳児カンファレンス（前）
子育てセミナー（後：西公民館）講師：小坂福井大学医学部教授
- 20日 敦賀マラソン
- 21日 養護全体会議（前）
- 22日 【即位礼正殿の儀】
- 23日 中養協議員会（名古屋市）園長出席
ブロック乳児看護師会（名古屋市～24日）1名参加
- 24日 全国児童家庭支援センター研究協議会（大阪市～25日）2名参加
職員旅行②（～25日）
- 25日 10月分給料支給
ブロック乳児院栄養士会（2名～26日：福井市）
- 28日 天理教社会福祉施設連盟地方大会（福岡県～30日）2名参加
- 29日 ブロック乳児栄養士会（名古屋市～30日）1名参加
- 30日 防災マネージャー講習会（県社協～31日）3名参加
- 11月 2日 福井県社会福祉大会（後：県生活学習館）園長出席
芋ほり体験（三方地区）
- 3日 【文化の日】
- 4日 【振替休日】
- 5日 職員旅行③（～6日）
- 6日 ブロック乳児養育主任者会（福井市～7日）3名参加
- 7日 福井県社会福祉審議会児童福祉部会（後：県庁）園長出席
児童健診（夕）
- 8日 職員旅行④（日帰り）
- 9日 敦賀市社会福祉推進大会（後：あいあいプラザ）園長出席
松陵中ソフトボール部北信越大会ベスト4（1名所属）
- 11日 職員旅行⑤（～12日）
- 12日 中部地区児童家庭支援センター実務者会（名古屋市～13日）2名参加
- 13日 ブロック乳児総務主任者会（四日市市～14日）1名参加
- 14日 里親研修（敦賀児相）
- 15日 美浜町更生保護女性会見学（25名：前）
- 17日 七五三祝
- 18日 職員旅行⑥（～19日）
- 19日 福養協拡大施設長会議⑥（前：ほほ咲みの郷）3名出席
- 21日 福井県要保護児童対策協議会（後：福井市）園長出席
- 22日 乳児カンファレンス（前） 里親研修（乳児院実習）
- 23日 【勤労感謝の日】
- 25日 養護全体会議（前） 11月分給料支給
- 26日 西小学校就学前健康診断（後）該当児2名
- 27日 全国児童養護施設長研究協議会徳島大会（～29日）2名参加
- 28日 ブロック乳児拡大正副会長会議（小牧市）園長出席

		職員旅行⑦（～29日）	
12月	3日	乳児院第三者評価受審（後）	
	4日	里親登録前研修（敦賀児相）	
		敦賀市更生保護女性会慰問（後）	
	5日	中養協指導職員研修会（岐阜市～6日）	3名参加 児童健診（夕）
	7日	北電労組青年部敦賀分会慰問（後）	
	9日	美浜町更生保護女性会慰問（前）	
	10日	乳児院第三者評価受審（終日）	*年末賞与支給
	11日	敦賀市社会福祉協議会慰問（後）	
	12日	職員旅行⑧（～13日）	
	13日	里親登録前研修（敦賀児相）	
	14日	西小学校オープンスクール	
	16日	乳児院上級職員セミナー（東京～18日）	1名参加
		三重里山学院・鈴鹿里山学院職員	14名施設見学（前）
	17日	里親登録前研修（白梅学園）	
	19日	養護全体会議（前）	
	20日	乳児カンファレンス（前）	西小学校年末終業日
	23日	各校年末終業日	【西小振替休日】
	24日	学童冬休み（～1/7）	*クリスマス会（昼～夕）
	25日	天理白梅寮地方派遣保育士面接会（後：天理養徳院）	副園長出席
		年末清掃（～27日）	12月分給料支給
	26日	里親登録前研修（白梅養護実習）	
	27日	年末帰省開始（～1/5）	
	29日	児家セン白梅閉館（～1/3）	
	31日	大晦日	
1月	1日	【元日】	
	4日	新年職員会議（前）	
	8日	各校授業再開	里親サロン（総福児相）2名参加
	9日	児童健診（夕）	
	13日	【成人の日】	
	15日	乳児カンファレンス（前）	
	17日	福井大学医学部虐待に関する調査（後：乳児）	
	18日	赤面ライダーショー慰問（後）	
	20日	家族療法招聘研修（総福児相）	4名参加
	21日	養護全体会議（前）	
		全養中堅職員研修会（東京～23日）	1名参加
	23日	福井県社会福祉審議会児童福祉部会（前：県庁）	園長出席
	24日	1月分給料支給	
	25日	天理教社会福祉施設連盟施設長研修会（天理市）	副園長出席
		福養協社会的養育研修会（後：越前市）	3名参加
	27日	福井県災害対応ネットワーク協議会発足式（後：福井市）	園長出席
	28日	市社協評議員会（前）	園長出席
	29日	福養協拡大施設長会議⑦（前：済生会乳児院）	3名出席
	30日	中部ブロック運営委員会（後：金沢市）	園長出席
		全社協F S W（家庭支援専門相談員）研修会（東京～31日）	1名参加
2月	2日	福井県里親会主催「星の子のつどい」（鯖江市）	該当児3名
	3日	節分豆まき（夕）	
	6日	施設コンサルテーション（人材育成園内研修）	児童健診（夕）
	7日	福井県知事功労者表彰（県庁正庁：園長受賞）	
	9日	S V研修（大阪市）	2名参加
		敦賀ロータリークラブすき焼き等慰問（昼）	
	11日	【建国記念の日】	
	12日	里親サロン（総福児相）	2名参加
	14日	赤い羽根共同募金授与式（県社協）	副園長出席
		福井県人権セミナー（後：県生活学習館）	園長出席
		敦賀市要対協学校部会（後：市役所）	1名参加
	17日	児童虐待防止研修会（あいあいプラザ）	5名参加
		里親支援相談員勉強会（越前市一陽）	2名参加
	18日	ブロック乳児拡大正副会長会議（小牧市）	園長出席

- 19日 総務省近畿総務局ヒアリング（後）
 20日 乳児カンファレンス（前）
 21日 西小6 送会
 23日 【天皇誕生日】 嶺南里親サロン（後：白梅）
 F L E C フォーラム（東京～24日）2名参加
 24日 【振替休日】
 25日 養護全体会議（前） 2月分給料支給
 26日 ブロック乳児院施設長会議（和倉温泉～27日）園長出席
 27日 家族療法招聘研修（敦賀児相）5名参加
 3月 2日 敦賀高校卒業式（1名）
***小中高コロナウィルスのため休校**
 3日 敦賀工業高校卒業式（1名） ひなまつり会（後）
 5日 福井県社会福祉審議会児童福祉部会（後：県庁）園長出席
 児童健診（夕）
 6日 全国児童家庭支援センター協議会役員会（後：東京）園長出席
 12日 乳児院第三者評価受審結果報告（後）
 松陵中・角鹿中卒業式（計6名） 県立高校合否（夕）
 13日 西小学校卒業式（3名）
 16日 北幼稚園卒園式（2名）
 学園理事役員会・評議員会（後）
 17日 市社協共同募金運営委員会（前：市社協）園長出席
 20日 【春分の日】 乳児カンファレンス（前）
 24日 学園卒園式及び各お祝い会（夕）
 25日 3月分給料支給
 29日 新任職員研修（～30日）
 31日 市社協評議員会（前：市社協）園長出席

3. 各学校への児童の入学（入園）・卒業関係

（1）令和元年度に入園入学した実数等

敦賀北幼稚園（2名）
 敦賀西小学校（5名）
 松陵中学校（4名）
 敦賀気比高校（1名）
 敦賀高校定時制（1名） ➡ 退学（家庭引取）

（2）令和元年度に卒園卒業した子どもの実数等（*進学先および就職先）

敦賀北幼稚園（2名） ➡ 敦賀西小学校
 敦賀西小学校（3名） ➡ 松陵中学校
 松陵中学校（5名） ➡ 美方高校（1名）
 敦賀高校定時制（2名）
 敦賀工業高校（1名）
 嶺南東養護学校高等部（1名）
 角鹿中学校（1名） ➡ 嶺南東養護学校高等部（1名）
 敦賀高校定時制（1名） ➡ 自活（湯の里ナーシングホーム介護部）
 敦賀工業高校（1名） ➡ 自活（東洋紡績敦賀工場）

4. 令和元年度実習生受入実績

実習受入校名	受入期間	人数	実習施設
大阪保育福祉専門学校	6月03日～6月22日	1	乳児
平安女学院大学	6月03日～6月13日	2	乳児
		2	養護
仁愛女子短期大学	8月01日～8月11日	4	乳児
	8月11日～8月21日	3	乳児
滋賀短期大学	8月05日～8月15日	3	養護
	8月15日～8月25日	4	養護
花園大学	8月05日～8月17日	1	乳児

豊岡短期大学	8月17日～8月27日	1	乳児
		1	養護
金城大学	9月02日～9月12日	1	養護
仁愛大学	9月05日～9月15日	2	乳児
		3	養護
	9月15日～9月25日	2	乳児
		3	養護
大阪保育福祉専門学校	9月30日～10月18日	1	乳児
京都文教短期大学	9月30日～10月10日	3	乳児
	10月11日～10月21日	2	乳児
滋賀短期大学	2月03日～2月13日	5	養護
	2月13日～2月23日	1	養護
華頂短期大学	2月03日～2月13日	2	乳児
		2	養護
	3月16日～3月26日	2	養護
平安女学院大学短期大学部	2月11日～2月21日	2	乳児
	2月21日～3月03日	1	養護
滋賀文教短期大学	2月18日～2月28日	2	乳児
奈良保育学院	3月01日～3月10日	4	養護
大阪国際大学短期大学部	3月12日～3月22日	1	養護
びわこ学院大学短期大学部	3月16日～3月26日	3	乳児
豊岡短期大学	3月18日～3月28日	2	養護
計		66	

5. 令和元年度の一般寄附補助金等

○ご寄附をいただいた個人・団体名

No.	ご芳名	寄附等の内容	金額(円)
1	福井銀行社会貢献部	高校進学助成(2人分:個人口座)	60,000
2	赤い羽根共同募金	家電購入助成金(施設会計)	445,000
3	川口電気株式会社	寄附(施設会計)	1,000,000
4	県社協自立支援助成金	運転免許取得助成(2人分:個人口座)	300,000
5	匿名	寄附(里親会計)	300,000
6	匿名	新築電話工事助成(施設会計)	600,000
7	全国乳児福祉協議会	七五三お祝い助成(4人分:施設会計)	120,000
計			2,825,000

6. 令和元年度の物品寄附等(敬称略)

月	ご芳名	住所	物品名
4	ビジネスホテル水仙	敦賀市	電子レンジ・文房具・玩具
	匿名		衣類・本・ジュニアシート
	クアトロブーム	福井市	お菓子5箱
	高橋健二	小浜市	キャベツ8玉
	匿名		衣類
5	匿名		衣類・本・ジュニアシート
	田村美代子	若狭町	衣類等
	三嶋八幡神社	敦賀市	お菓子・飲料
	高橋健二	小浜市	玉ねぎ1箱
	北陸コカ・コーラB	敦賀市	飲料12箱
	宇野理事長	敦賀市	お米30kg
	匿名		ぬいぐるみ
	又農雅和	敦賀市	食器2箱

6	中谷和之	敦賀市	お菓子・果物他
	山本敏子	敦賀市	スポーツ用品・日用品
	チュチュアンナ1%クラブ	大阪府	靴下30足
	クアトロブーム	福井市	お菓子4箱
	森田由美子	若狭町	靴・サンダル等
	坊 善信	若狭町	衣類・クッション
	門司一徹	東京都	カード(手紙)
7	森田由美子	若狭町	乳児用品等
	ラスベガス	敦賀市	お菓子4箱
	高橋健二	小浜市	とうもろこし40本、胡瓜1箱
	鹿江直彦	敦賀市	雛壇1ケース
	倉谷朋弥(代表)	敦賀市	赤面ライダーショー
	浦井美穂子	敦賀市	衣類
	高橋健二	小浜市	茄子1箱
	榎本康博他	若狭町	おはぎ作り
	匿名		衣類
	匿名		玩具
	大阪の山ちゃん	大阪府	アイスクリーム8箱
8	徳本道輝	敦賀市	お菓子多数
	河合博幸	敦賀市	自転車1台
	(株)福井精米	福井市	新米40kg
	辛島康之	敦賀市	飲料2箱
	(株)いーぼる	東京都	衣類3箱
	若狭東地区更生保護女性会	若狭町	日用雑貨品
	内藤美子	小浜市	人形他
	(株)いーぼる	東京都	屋内用ジャングルジム
9	坪田安弘	若狭町	お米20kg
	匿名		玩具
	高橋健二	小浜市	青ネギ1箱
	板場絹枝	若狭町	玄米60kg
	中田 渚	敦賀市	クッション他
	小山法子	敦賀市	衣類他
	近ちゃんふぁ〜む	坂井市	梨1箱
	椎崎美穂	美浜町	衣類・本
	坊 善信	東京都	衣類
10	古川博昭	敦賀市	お米20kg
	スポーツ小林	敦賀市	スポーツ用品5点
	(株)いーぼる	東京都	衣類4箱
	山崎啓蔵	敦賀市	玄米60kg
	春日野昇	敦賀市	レタス1袋
	チュチュアンナ1%クラブ	大阪府	靴下30足
	クアトロブーム	福井市	お菓子4箱
	西浦 茂	敦賀市	玄米20kg
	徳本道輝	敦賀市	お菓子7箱
	北陸コカ・コーラB	敦賀市	飲料15箱
	山田のぶ枝	福井市	靴・衣類
	森田由美子	若狭町	衣類
	榎本康博他	若狭町	芋ほり招待
11	田中敏和	敦賀市	卓上ミシン他
	山田のぶ枝	福井市	衣類
	井関弘美	敦賀市	衣類
	山下楓香	敦賀市	衣類
	子ども食堂	敦賀市	玉ねぎ・ジャガイモ等
	大阪の山ちゃん	大阪府	衣類・玩具・クリスマスツリー
12	(株)いーぼる	東京都	衣類2箱
	敦賀市更生保護女性会	敦賀市	慰問金・日用品類他
	子ども食堂	敦賀市	食材多数
	北電労組青年部	敦賀市	ビンゴゲーム、ホットケーキ
	A L T	敦賀市	クリスマスプレゼント他

1 2	美浜町更生保護女性会	美浜町	お米20kg、日用雑貨品
	(株)カナカン乾親会	金沢市	カップ麺12ケース
	日本鏡餅組合	新潟市	鏡餅セット1個
	徳本道輝	敦賀市	食品多数
	高橋健二	小浜市	ミスタードーナツ券(5000円分)
	チュチュアンナ1%クラブ	大阪府	靴下30足
	ラスベガス	敦賀市	お菓子3箱
	敦賀市社会福祉協議会	敦賀市	入所児年末慰問金
	匿名		フリーズドライ製品3箱
	(株)エル・ジャパン	東京都	クリスマスプレゼント多数
	東京海上日動敦賀支社	敦賀市	アイスクーキ7箱
	池田みつ枝	沼津市	みかん1箱
	門司一徹	東京都	クリスマスカード
	榎本康博	若狭町	お米10kg
	住友生命福井支社	福井市	クリスマスケーキ9箱
	全国シャンメリー協同組合	東京都	シャンメリー24本
	匿名		お米20kg
	匿名		クリスマスプレゼント
	敦賀市児童婦人福祉協議会	敦賀市	慰問金・みかん2箱
1	大阪の山ちゃん	大阪府	みかん1箱
	子ども食堂	敦賀市	食材多数
	日本教文社	東京都	カレンダー他
	トレンドマイクロ(株)	東京都	絵本13冊
	春日野昇	敦賀市	米30kg
	読売新聞東京本社	東京都	グローブ2個・ボール22個
	田村美代子	若狭町	靴2袋
	倉谷朋弥(代表)	敦賀市	赤面ライダーショー他
	匿名		衣類
	匿名		大根5本
	小嶋喜代子	敦賀市	ランドセル2個
	坊 善信	若狭町	寝具他
	クアトロブーム	福井市	お菓子4箱
2	敦賀ロータリークラブ	敦賀市	すき焼き会・紙芝居等
	カーブス	福井市	生活用品一般多数
	ゆうあい倶楽部	敦賀市	卒園児プレゼント
	山耕(株)	越前市	ランドセル2個
	宮崎知世	鯖江市	衣類・絵本
	本勝寺(桃井泰朝)	敦賀市	衣類多数
	門司一徹	東京都	紙製ひな人形1体
3	西小PTA	敦賀市	本・衣類
	(株)いーぼる	東京都	衣類2箱
	敦賀市役所危機管理課	敦賀市	液体ミルク2箱
	匿名		衣類
	エレコン(株)工事部	大阪府	文具・お菓子・図書カード
	匿名		衣類
	ダスカジャパンQ	土浦市	ベルギーチョコレート2箱
	春日野昇	敦賀市	レタス2袋
	阿部照伸	勝山市	手作りマスク40枚

7. 令和元年度に来園された議員(敬称略)

①福井県議会議員
力 野 豊 辻 一 憲 北 川 博 規
②敦賀市議会議員
山 本 武 志

事業報告書	乳 児 院 舊 舎
-------	-----------

令和元年度事業報告

1. 事業の目的

白梅学園乳児院舊舎は、天理教の基本理念に基づいて長年積み上げてきた養育実践を踏まえ、事情があつて親と生活を共にすることのできなくなった乳幼児たちの傷ついた心に寄り添い、温かい眼差しの下、親心に徹した養育体制で子どもたちの心身の発育に寄与していくことを目的とする。

2. 施設の現状

平成30年7月より、小規模グループケアを導入してより家庭生活に近い環境を子どもたちに提供してきた。また職員定数に対する職員不足も昨年度末に解消する目途がついた。子どもの入所の主訴においては、母親の精神疾患や養育不安が目立つ。そして平成29年に厚生労働省が発出した「新しい家庭養育ビジョン」では、乳児院入所は原則停止、たとえ入所しても数か月以内に家庭引取か里親委託を目指す方向性が示されたものの、その意向に沿った流れとはならなかった。

基本的に親からの愛情不足が考えられ、当該児童を取り巻く親や里親の事情がビジョンの方向性に合致していないことが明らかとなったことも浮き彫りになった。乳児院舊舎としては、これまで通り基本理念に沿った形で、職員は「一手一」の精神で子どもの養育に取り組んできた。

定員10名に対する暫定定員9名は、入所（7名）と退所（5名）の実績から増減プラス2の実績より、令和2年度は暫定定員が解消される。

3. グループ構成と養育体制

グループ名	定 員	対象児	養育者		その他
すなお	5 名	乳幼児	主 任	看護師・保育士	栄養士・調理員 家庭相談員など
まこと	5 名	幼 児		看護師・保育士	

◇令和元年度入退所実績表（委託一時保護児童含める）

	入所	退所	退所後先	一時保護	一保解除	一保解除後先
男	5	3	白梅養護 1 里親 1、他施設 1	3	3	白梅乳児 3
女	2	2	白梅養護 2	2	1	白梅乳児 1
計	7	5	5（再掲）	5	4	4（再掲）

【養育体制】

○すなお（看護師 1 名・保育士等 6 名）

乳児は 0～6 ヶ月くらいまでは観察室で養育にあたる。養育の中心は保育士だが、様々な疾患になりやすい乳児のため、看護師が嘱託医やかかりつけの医療機関等に連絡等を行い随時対応した。特にダウン症の赤ちゃんは感染症になりやすく肺炎でこの間 3 回入院を繰り返した。原体験期に属する子どもたちを愛情豊かに育て生きる喜びを感じるよう養育した。

○まこと（看護師 2 名・保育士等 5 名）

3～5 歳の幼児を担当する。中でも幼稚園に通園した子どもが 3 人いた。保育者は、子どもたちの甘えたい気持ちを大事にし、自分の気持ちを上手く言葉で伝えられないもどかしさを感じて代弁することに注力した。また幼児版コモンセンスペアレンティング初級編（C S P）研修を取り入れ、養育者は子どもの発達に応じたかわり方を学んでいる。特に、児童養護施設在籍児わけでも発達遅滞を感じさせる幼児 2 名を育ちなおしの一環として同じ空間で養育している。

4. 養育支援

幼児版コモンセンスペアレンティング初級編の専門性を活用して、子どもたちが表出する言葉や姿から、本人の内包している心理的課題を把握するよう努めた。また、それぞれの子どもの抱える諸問題をホーム会議やカンファレンスを通して、職員が親心に徹した養育支援を行ってきた。

(1)食生活

・献立について

基本的に手作りで加工品はなるべく使用しないことにしている。また旬の食材、季節に合った食材の使用を心掛けている。献立は野菜メニューが多いが、美味しく食べられる工夫をしながら無理なく食べられるようにしている。その他、手作りおやつや地元ならではの食材や食品を活用している。また一方で、食物アレルギーのある子どもにはその子どもに適合した献立を提供する。

・食事量について

基本的に量は少なめに盛り、おかわりをさせている。盛られた分量を食べることにより、食べられた・おかわりできたという喜びを持たせ、自信に繋がれるようにしている。また、苦手なものは自分から「減らして」と言える環境を醸成している。

・食育について

年齢に合わせた簡単な調理を子どもたちみんなで楽しんだり、外出時に食材の買い物をしたり、食事の準備や片付けのお手伝い等を通して、食べものの大切さや食べることの大切さ、食べることができる幸せを感じて伝えるようにしている。

(2)衣生活

- ・衣服費は措置費の中から年2回出費額を定めて購入している。購入にあたっては、子どもの担当者が子どもと一緒に量販店へ行き、好みを取り入れて購入している。
- ・一般から寄付されてくる衣料品からも同様に選んで子どもに提供している。“物を大切にする”“もったいない”という感謝の心を、小さな子どもの頭でも感じられる機会をもたせるようにしている。

(3)住生活

- ・年齢に応じて2つの小規模グループを設置している。
- ・就寝部屋も2つ用意し、浴室と沐浴室は1か所としている。
- ・親子訓練室を設け、親子関係を調整向上に資することを目指したが、なかなか親子関係再構築に向かったケースが出てこなかった。
- ・舎内外に明るい雰囲気のある環境を作っている。

(4)健康と安全

- ・軽易な怪我等は看護師がその職責に基づいて手当を行った。看護師は常に学園嘱託医と連絡が取れる環境に努め、突発的な症状を発症したときには行きつけの医療機関に対応をお願いした。嘱託医は毎月1回（基本的に第1木曜日の午後）子どもたちの健康管理にあたる児童健診を行っている。
- ・インフルエンザ等の感染症、すなわち院内感染を引き起こす事案が発生した場合は、看護師は嘱託医の指導のもと、隔離を要する子どもの区分けとその対応について職員に要請した。
- ・子どもたちはもちろんのこと、職員にインフルエンザ予防のためのワクチン接種を実施した。
- ・子どもたちには発達年齢に応じて、予防接種法に従い適時ワクチン接種を行った。
- ・感染症予防のため、プレールーム（ほふく室）は床暖房を採用した。
- ・養育者は子どもの起床から就寝まで常に安全管理に努め、夜間は、乳児は15分チェック、2歳未満の幼児は60分チェックを実施して突然死対策等を行ってきた。

(5)家族への支援

- ・家庭支援専門相談員をその専任として当たらせて、子どもの家庭への電話連絡や訪問活動を児童相談所と連絡調整しながら進めてきた。
- ・育児不安や精神的問題を抱える母親に対しては、子どもと母親等との関係づくりのため、児童相談所と連絡を取りながら、慎重に面会や外出、外泊を進めてきた。
- ・家庭に帰れない子どもには、特定の里親をお願いしたり、1対1の関係を重視した養育担当者と過ごしたり、まさに家庭養育を意識した取組みを行ってきた。

5. 養育支援計画・記録

- ・子ども一人ひとりに年2回（5月と11月）、各担当者が中心となり、養育支援計画表を作成している。家族の状態や子どもに対する家族の思いを聞き取り、児童相談所から提示された個別援助指針に基づいて、一人ひとりの短期目標および中期目標を作成し、全体としての養育支援計画表を児童相談所に折り返し送っている。
- ・日々の記録やグループ討議、カンファレンスで意見交換したものは併せて、情報共有ソフト「エフトス」に挙げながら活用している。

6. 権利擁護

- ・日本国憲法、日本国憲法、児童憲章、児童福祉法、児童虐待の防止に関する法律、全乳協倫理綱領、白梅学園職員倫理綱領等に掲げられている理念を遵守する、を基本理念として子どもを尊重し、子どもの最善の利益のために尽力している。
- ・職員が子どもの権利を擁護する精神と実践のために、積極的に研修会などに参加させた。カンファレンスの折には、学んできたことを報告する時間を確保している。
- ・入所の際には、家庭支援専門相談員ならびに養育主任（UL）が、保護者に施設の役割と子どもの権利に関する事案について書面を使いながら説明している。

7. 関係機関との連携

- ・施設の役割や機能を達成するために、児童相談所との連携を適切に遂行し、定期的な情報共有や事例検討会議を通して、子どもの家族が抱える問題（課題）についての支援や問題解決への取り組みを行ってきた。
- ・各市町の要対協の施設代表者に施設長がなっており、個別のケース検討会議いわゆる実務者会には家庭支援専門相談員等が参加して、地域の要養護児童の状況把握に努めている。
- ・幼稚園に通う子どもたちについては、児童養護施設から幼稚園に通う子どもたちと同様、幼稚園関係者および一般家庭より通園されている保護者の方々に、施設の社会的役割を伝える活動をしている。

8. 職員の資質向上

- ・昨今施設には被虐待児童の増加によって、施設の運営の質が問われてきた。施設長は職員の範となるべく、また施設長の監護権と親権の明確化や親権停止制度の改正などを理解していることが求めるため、「社会的養護を担う児童福祉施設長研修会（隔年受講義務：1泊2日）」を受講しなければならない。
- ・職員の研修は、年度初めに研修計画を発表し、施設長や養育主任（UL）を中心に援助技術の向上を目指す。勤務経験の浅い職員には新任研修等を、中堅職員にはそれに応じた研修を受講させた。また専門職員（家庭支援専門相談員・里親支援専門相談員等）にはその職責に応じた研修に参加させた。

- ・処遇改善加算を適用される研修に、職員を積極的に参加させた。

9. その他

- ・施設長との個人面談（1回）行い、現況と今後の展望等について意見交換した。
- ・新任職員を歓迎するために、児童養護施設職員と一緒に歓迎会を開催した。

事業報告書	児童養護施設 晴喜館
-------	------------

令和元年度事業報告

1、月別入所児童の推移（※月初の人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
本 体	22	26	26	29	29	29	29	29	29	29	31	31
たんぽぽ	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
日 向	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
合 計	33	38	38	41	41	41	41	41	41	41	43	43
定 員	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44
充足率	75.0	86.4	86.4	93.2	93.2	93.2	93.2	93.2	93.2	93.2	97.7	97.7
一時保護	1			3	3							
ショート		3			1					5		

2、職員配置状況

あらき棟 事務所	
職 名	配置
施 設 長	1
事 務 員	1
家庭支援専	1
里親支援専	1
心理療法士	1
個 別 対 応	①
栄 養 士	1
嘱 託 医	1
特別指導員	1
学習指導員	2
※個別対応は兼任	

晴喜館第2棟		
職 名	めばえ	ふたば
U L	1	
保育士	3	2
指導員	0	1
調理員等	1	
管理宿直	1	
地域小規模		
職 名	たんぽぽ	日向
U L	1	
保育士	3	1
指導員		2
管理宿直	1	

晴喜館第3棟		
職 名	あおば	わかぎ
U L	1	
保育士	3	1
指導員	0	2
調理員等	1	
管理宿直	1	
正規職員 29名		
非常勤	嘱託医	1名
	特別指導員	1名
	学習指導員	2名
	管理宿直	3名

正規職員 29名
 非常勤 嘱託医 1名
 特別指導員 1名
 学習指導員 2名
 管理宿直 3名
 合計 36名

3、会議等

会議名	参加対象者	年間回数
全体会議	養護全職員	10回
支援者会議	施設長・FSW・里専・心理・UL	21回
H L 会議	施設長・FSW・里専・心理・UL・HL	10回
ホーム会議	ホーム職員（必要に応じて支援職員）	随時
専門委員会	アドバイザー：1名 委員：5～6名	随時
中高生会議	指導員 中高生児童	6回

4、心理療法・家族支援・里親支援 実施状況

- ① 心理療法 ・対象児童 27名 毎週（隔週）1回1時間
 ・内容（カウンセリング・プレイセラピー・SST）
- ② 家族支援 ・対象家族 4家族 研修開催数 16回
- ③ 里親支援 ・里親サロン（星の子）参加 21回 ・電話相談件数 200回
 ・里親認定前研修・里親登校更新研修 ほか ※別紙参照

5、実習生実施指導状況（※詳細は別紙4、実習生受入実績参照）

- ①受入校数：10校 ②学生実人数：35名 ③延べ日数：350日

6、ボランティア受入人数

延人数 126名

敦賀ロータリークラブ・北電労組青年部・ALT・英会話教室・・赤面ライダー 他

7、主な行事

①防災訓練年間回数（※コロナ対策のため、年明けは中止となる）

- ・本体施設 5回 ・たんぼぼホーム 5回 ・日向ホーム 5回
 ・全体開催：消火避難訓練、緊急蘇生法講習会、防犯訓練、防災マネージャー研修会

②その他行事

日付	行事名	開催場所	参加人数	
			職員	児童
4/29	全教一斉ひのきしんデー	美浜町坂尻海岸	8	30
5/4	GW行事ハイキング&バーベキュー	野坂山	18	29
5/19	天理ドッチボールフェステバル	奈良県天理市	3	15
7/6.7	生活・自立支援キャンプ	国立若狭湾少年自然の家	4	20
7/21	性教育「命の大切さを知る会」	地域交流スペース	20	32
7/21	卒園生との交流会（中高生対象）	地域交流スペース	13	14
7/23	間取り教室	地域交流スペース	8	25
7/25～	夏のこどもおちばがえり（鼓笛隊）	奈良県天理市		4
7/28～	夏のこどもおちばがえり（各団）	奈良県天理市	9	28
7/31～	福井教区少年ひのきしん隊	奈良県天理市		11
8/9	白梅合同海水浴	美浜町菅浜海水浴場	17	34
8/9～	天理教学生生徒修養会（高校の部）	奈良県天理市		3
9/28	福養協総合レクリエーション	芝政ワールド	5	19
11/2	芋掘り招待行事（榎本康博氏より）	若狭町生倉	3	13
12/8	天理ドッチボールフェステバル	天理市	3	8
3/29	中高生企画 自立に向けた体験活動	日向	3	15

◇随時活動 ホーム行事・地域清掃活動 他

8、特記事項

I、人材育成について

昨年は、コモンセンスペアレンティングにおいて、児童記録の構築とS V支援の確立に力を注ぎ、定期的な大阪S Vへの参加、施設コンサルテーションの導入を行い、管理者の育成と職員の情報共有や課題の共通認識を行えるよう取り組んで来た。大きな成果としては、

- ①効果的にほめ、予防的教育を強化し数値化することにより子ども達の大きな問題が減少し、人間関係の再構築や自己肯定感が育まれた。
- ②朝礼後の5分間講座や朝会でのF Bより、より効果的にペアレンティングを活用している。
- ③職員の組織的なS V方法の確立により、自己理解、他者理解を深める機会となっている。
- ④児童の保護者へのペアレンティング研修を4家族16回の講座を受講頂くことが出来た。

今年度も引き続き、人材育成を強化して施設の高機能化を図り、地域支援のための社会資源を構築して、社会貢献への一助としたい。

II、専門委員会について

昨年度より、施設の高機能化・多機能化を目指す上から、専門委員会を設置し、全職員参画の下、様々な分野で意見を聴取し、施設の目的遂行のため意思疎通を図って来ました。今年度も引き続きPDACサイクルを行い、より良い施設運営の上に役立てていきたいと考えております。

- ①食 育 生 活（子どものリービングケアの向上）
- ②子どもサポート（自立に向けた支援・アドボカシー機能の強化）
- ③職員サポート（職員ケアの充実・スキルアップのサポート）
- ④安 心 安 全（児童・職員の安全安心について考える）
- ⑤地 域 サ ポ ー ト（地域貢献・地域支援・地域参加への取り組み）
- ⑥デ ー タ 管 理（学園内のデータの取り扱いについての整理）

III、子どもの権利擁護について

①児童の意見聴取の機会について

- ・中高生会議を定期的に行い、ルールの変更や行事の企画を子ども達が中心で考えられる機会を設定している。また、当日何らかの理由で会議に参加出来なくても意見箱等を通じて、意見が反映されるようにアドボカシーに配慮してきた。
- ・ホーム内で相談しながら、お金の使い方を考え節約しながらホームの楽しい行事を増やしていけるよう話し合いの場を設けるよう促してきた。

IV、防災対策について

施設防災計画、事業継続計画を策定する上から、今後は地域交流を含めた計画の必要性が課題である。昨年度は体験型防災教室として「防災マルシェ」を企画したが、コロナ感染拡大防止対策のため中止となりました。今年度も引き続き企画を行い、地域の方々と緊急時における協力体制の構築に努めたい。

令和元年度事業報告

1. 事業の目的

児童相談所がない小浜市およびその近隣市町における児童問題および家庭養育問題を、児童相談所の補完機能として家庭訪問や電話相談等の相談活動、親や子どもの心理療法を担いながら様々な地域支援活動を展開する。

2. 事業の内容

- ①児童に関する家庭その他からの相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに応じる。
- ②市町の求めに応じ、技術的助言その他必要な援助を行う。
- ③児童相談所において、施設入所までは要しないが要保護性がある児童、施設を退所後間もない児童等、継続的な指導措置が必要であると判断された児童及びその家庭について、指導措置を受託して指導を行う。
- ④里親等からの相談に応じるなど、必要な支援を行う。
- ⑤児童相談所、市町、里親、児童福祉施設、要保護児童対策地域協議会、民生委員、学校等との連絡調整を行う。

3. 児童家庭支援センター白梅の現状 *令和元年度の相談等実績報告書（別掲）

平成17年4月に小浜市に児童家庭支援センターを設置してから15年を経過し、嶺南地区わけでも若狭町以西から高浜町の1市3町におけるこれまでの活動実績が評価されている。人口15万人にも満たない地域で、相談活動等実績数は全国比で見ても高水準である。ただ家庭相談員（社会福祉士）1名と心理療法士1名の常勤化がなかなか実現できずにいる。また母親の育児不安や精神疾患、夫婦の不和から転じるDV、精神的虐待等が散見されることより、センターの機能展開を進める上では専門職員の増員は喫緊の課題となっている。

令和元年度初めて指導委託を敦賀児童相談所から受託した。今後ともこの制度を利用した家庭訪問活動等が求められる。